

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



科名 コウヤマキ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い、針葉樹

自然樹形が美しい円錐形になるのでシンボルツリーに適している。長枝の先に多数の短枝が束生する姿は、独特の趣を感じる針葉樹。生長が遅いことから庭木のなかでは高価になる。球果は翌年の秋に成熟。材は樹脂が多く耐久性に優れ、古くから桶、橋杭などに使われている。



Memo

コウヤマキは、ヒマラヤスギ、ナンヨウスギとともに「世界三大庭園樹(美樹)」といわれている。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期					(鑑賞には向かない)								
果 実											(翌年の秋に成熟)		
紅 葉													
施 肥		(多肥は禁物 / 少量でよい)											
剪 定													

好みの環境					
日当り	陽	○	○	○	陰
土 壤	乾	○	○		湿
寒 さ	強			○	弱
暑 さ	強	○			弱
潮 風	強			○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○						

ポイント 美しい自然樹形を生かした配植にしたい。幼樹の時期は耐陰性が強く生長が遅いため、樹高3m程度に育った樹を高植えにし、周りをマルチング材などで覆うと良い。定着後の移植は難しいので注意。

剪 定 生長が遅く、自然に樹形がまとまるが、円錐形の樹形を乱すような側枝が出たら切り戻す。芯（主な幹）が2本以上になると円錐樹形が崩れるので、1本残して他を切除するとよい。

病虫害 アブラムシ、カイガラムシが発生することがある。アブラムシなどの排泄物が葉につくと二次的に「すす病」が誘発されるので一緒に対処する。

呼べる鳥  [メジロ](#)・[ツグミ](#)